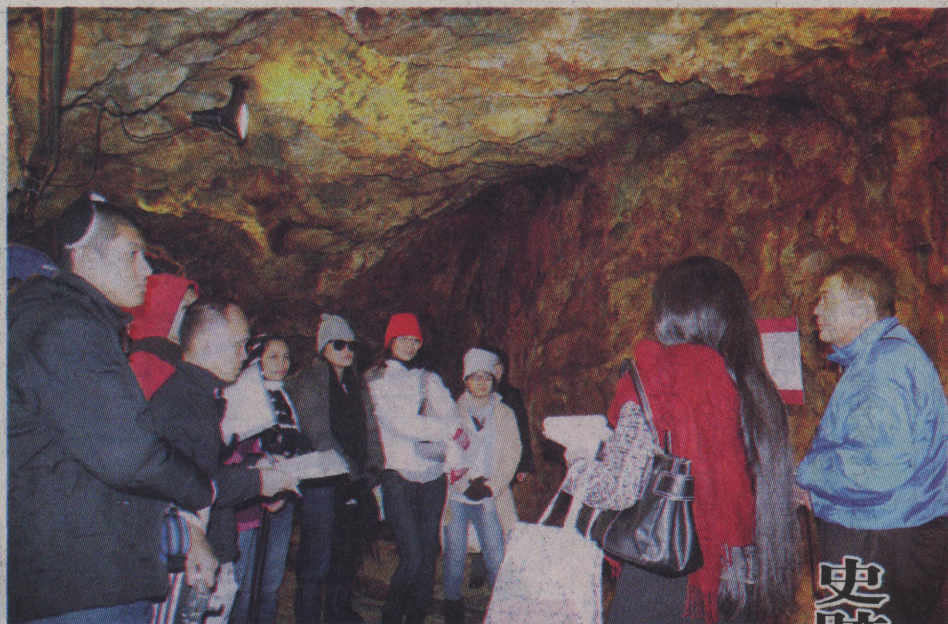


坑道内を見学する研修員(史跡尾去沢鉱山)



史跡尾去沢鉱山を視察

JICA 研修員

秋田の観光振興を学ぶと、国際協力機構(JICA)の青年研修「観光振興コース」に参加しているフィリピンからの研修員が11日、閉山した鉱山を利活用し、観光に結びつけた鹿角市の近代化産業遺産・史跡尾去沢鉱山を視察した。

研修初日のこの日は、同鉱山で坑道などを見学。案内人の説明を受けながら、約900万年前の地殻断層や採掘跡など、約1300年の鉱山の歴史に触れた。日本の近代化を担ってきた設備などを産業遺産として保存、利活用する取り組みに関心を示していた。

研修員は観光省や大学などに勤務する20、30代の男女16人。秋田国際交流友の会がJICAから委託され、受け入れた。8日に来日し、本県には23日まで滞在する。

12日は小坂町を訪れ、文化遺産を活用した町おこしを学ぶ。

期間中、観光施設の

鉱山の観光利用に関心